

事例 14 えりも岬緑化事業 70 周年記念植樹祭

(北海道森林管理局 日高南部森林管理署)



- ・北海道幌泉郡えりも町 えりも岬国有林
- ・(左) 植樹祭開会式の様子(令和5(2023)年5月)
- ・(右) 小学生による植樹の様子(令和5(2023)年5月)

北海道幌泉郡えりも町のえりも岬は、かつて広葉樹の原生林で覆われていましたが、明治以降、燃料としての木々の伐採や放牧等によって裸地化が進み、「えりも砂漠」といわれるほど荒廃してしまいました。北海道森林管理局では、この土地を緑化するため、昭和28(1953)年から官民共同で海岸防災林造成事業に取り組んでいます。

この事業を開始してから70周年を迎えることから、令和5(2023)年5月17日にえりも町の百人浜展望台で「えりも岬緑化事業70周年記念植樹祭」を開催しました。当日は、地元の小学生約350人や「ミス日本みどりの大使」のほか、この緑化事業を題材として制作中の映画「北の流氷(仮称)」の関係者など総勢約600名が参加し、えりも治山事業所職員による指導の下、クロマツの苗木1,200本を植え付けました。

植樹を終えた後は、苗木が大きく育つ日に思いをはせながらあちこちで記念撮影する姿が見られました。

今後も、地域のみなさんとともに、えりも岬の森を大切に守り育てていきたいと考えています。